

2011年12月7日

JR東日本

図で考える人は仕事ができる(応用)

図形と矢印で構想を練ってから文章化すると、論文の質が高まることを理解できた。	日々の生活においても”図で考える”ことを意識して行動していく。	文章に対する考えを変えなければならない。	図解の便利さを実感した。	図から文章にするのは新鮮だった。	目からウロコだった。
図解文章法を学び、文章が書きやすくなった。	自分が全く理解していない点や物事の本質が分かった。	図解で文章が書けることを学んだ。	文章では分からない本質を見るためのツールを得ることができた。図にすると逆に文章を起しやすくなる。	図解ができると文章が書ける。	
図解文章法について、要点を図にまとめることで、より効率的で無駄の無い文章を書ける。	内容が分かっているなければ、図も文章も書けない、全てはつながっている。	理解できれば文章もすぐできる。	図で考えると、物事の本質を見ることができ、物事の全体を見ることができる。プレゼン能力向上につながる。		
箇条書きは説得力がないことが再発見できた。	文章力向上には図解のスキルを習得することが効果的。	「外的世界」に目を向けたい。	文章力とは図解力であり、図解さえ出来れば文章は上達していく。	1週1図を目標に取り組む。	書く作業が楽しくなる。
一日一図を目標にしたい。	論理的に文章が書けることがよく分かった。	物事の関係性をつなげることで本質が見えてくる。	文章を作る時にも客観的に的確な文章を記入出来ると思う。	作文は図でまず書くことにより、スラスラと文章が書けました。	今まで暗記が苦手だったが、図に表すことにより、記憶に残りやすいと思った。
今日作った図を、そのまま載せても良いのでは？と思えるような発表があった。	会社の書面は疑いもしないで見ていたが、図で考えて重要なことなどを見極めたい。	文章(文字)を無理に理解しようとしなくて、全体を見渡してどのような構造になっているのか考えたい。	図で考えられる人間になりたい。		
図から文章にするという概念は新鮮だった。自分の中でも理解しながらやることができた。	物事の本質を見るためには、図を利用すると良いことが分かり、トップが間違ったら訂正できるような人間になりたい。	図を書くことの大切さ、特に「設計図」になるという点では、とても感銘を受けた。	文章を上手に書く、内容について教える本は無い。正しい文章はなく、あるのは上司の書き方だけだ。この2つはとても新鮮な言葉でした。		
図で考えを表すことにより、全体が見えてくる。しかしその反面弱点も見えてくる。	自支社の実行計画の内容も掘り下げて考える事ができた。	文章がスラスラ書けた。	文章の中にある言葉・単語の関係やつながりを探し出すコツが知りたい。	読むだけで理解した気になっていることに気付いた。	
図解という視点を持つことでそのものを疑うという観点が生まれてきた。	接続詞が難しい。自分の部署の方針を理解出来ていないかが明るみになった。	箇条書きに惑わされず、関係性を図にしたもので、他人に説明できるようにしたい。ただ覚えるだけの勉強法よりも忘れない勉強法となると！と思った。			
社員を育てるときには図を使用し、本質を見て考える人を育成します！	図解から文章を作成していくという考え方については、大変分かりやすく、文章を書くことが苦手な私にとっては、大変有意義な内容でした。	文章を書くときも図が骨格になるので、ぶれることがなく分かりやすい文章を書ける。図解が上手いと理解力、文章力が向上し、より高いレベルで物事の解決方法をとれる。			
自分の職場でやらなければならぬことが見えて来た。	図解があると設計図となるので上手く書けると言われ、なるほど！と思いました。また「外的世界の拡大は内的世界の深化」のフレーズも印象に残っています。	図を描くことによって、他の人に説明する際の文章を考えるにも役立つ。図の世界が広がった。	「中心は何か」「土台は何か」を図にまとめることで、理解しやすく、より新たな視点が見えることが分かった。		
応用編は、基礎編より物の考え方、見方が少し変わった。他人に説明するとき、いかに私自身がわかっていないと、他人もわからないということを学んだ。図解文章法では、職場で実践できるようにしたい。	文章を書くのが苦手な理由が分かった。これからは箇条書きではなく図解文章術を用いて、文章を書くようにします。	文章から図、図から文章のパターンを学び、文章能力も上がりました。	図から文章は、自分の書きたいことが分かっているため、文章が書きやすかった。最後までぶれずに話をふくらませることができた。今後文章や作文を書く時の参考にしたい。		
図で表すと要点のみで書かれているので、自分の言いたいことがスラスラと説明ができる。頭の中で言いたいことの組み立てに役立っているからだ実感した。		相互の関係を重視しなければいけないことが分かった。「点」で読んでいくクセを直していきたいです。			